

2016年3月22日

文京区長 成澤廣修様

平成28年度予算に対する緊急要望書

ぶんきょう未来

予算委員会等を通して、ぶんきょう未来として、早急に対応すべきと考えたことを以下にまとめました。ご対応くださいますよう要望します。

<スポーツ施設の利用料金について>

社会教育登録団体の施設利用の際の減免について、文化登録団体は利用料を50%減免されるのに対し、スポーツ登録団体の減免は30%であるため不公平感が生じている。社会教育登録団体の登録種別による減免割合の整合性を図り、50%に統一すること。

<国公有地等の購入>

区内にある国公有地等を積極的に購入し、高齢者施設や保育園増設等の区民ニーズに対応すること。

<学校快適化の前倒し>

学校校舎の施設格差解消のために実施されている「学校快適化事業」について、契約差金などで余剰金が生じた場合、次年度の計画を前倒しし、備品整備や改修などに活用できるよう速やかに補正予算を組むこと。

<待機児童対策>

保育需要の急増により幼稚園における預かり保育が拡充されているが、さらに抜本的な政策の切り替えが必要である。以下を要望する。

- ①区立幼稚園を早急に全園「認定こども園」に転換すること。
- ②当面は区立幼稚園の3歳児保育を全園で早急を実施すること。
- ③青柳保育園における0歳児保育の実施などすること。

<園庭がない保育園対策>

園庭がない私立認可保育園児童が屋外保育ができる補完施設を区として提供し、室内か室外で遊ぶかを主体的に選び過ごせるようにすること。例えば、屋外こども広場の拡充や学校敷地の活用など、全庁的に外遊びの環境を整備すること。